

IVO

イーヴォ・ポゴレリッチ

ピアノ・リサイタル

POGORELICH

Piano Recital



モーツァルト:

アダージョ 口短調 K. 540

Mozart:
Adagio in B minor, K. 540

幻想曲 ハ短調 K. 475

Fantasy in C minor, K. 475

幻想曲 二短調 K. 397

Fantasy in D minor, K. 397

ピアノ・ソナタ第11番 イ長調 K. 331

「トルコ行進曲付き」

Piano Sonata No. 11 in A major, K. 331 "Alla turca"

ショパン:

ノクターン 変ホ長調 op. 55-2

Chopin:
Nocturne in E-flat major, op. 55 No. 2

3つのマズルカ op. 59

3 Mazurkas, op. 59

ピアノ・ソナタ第2番 変口短調 op. 35「葬送」

Piano Sonata No. 2 in B-flat minor, op. 35

2025年 **1/29** (水) 19時

サントリーホール

Wednesday, January 29, 2025 at 7 p.m. Suntory Hall, Tokyo

料金 S¥17,000 A¥13,000 B¥9,000



主催: KAJIMOTO 協力: 株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ

スクラップの後、光あるビルドへ — ポゴレリッチの今を聴く

スクラップ&ビルド—— ポゴレリッチのピアノを聴く人々は、多くが彼の音楽づくりについてそうした言葉を使う。たしかにそうかもしれない。彼はこれまでどのような楽曲でも音要素を、言ってみれば伝統的に弾かれてきたスタイルからいったん解体し、再構築して演奏してきた。もっとも「いったん解体」というのは、優れた演奏家なら誰しもすることで、ポゴレリッチの場合、そのあまりに独創的な「再構築」がいったいどういう感覚、思考を経て行われたのだろうか？まさしく見当のつかないブラックボックスであり、ここにこの天才の深い謎があった。

しかしこのスクラップ&ビルド。ポゴレリッチのことでいえば——こう言うのは乱暴だし、大雑把すぎると思うけれども——彼の辿る人生そのものがまたそうであったかもしれない。最愛の妻であり師を亡くしてから、闇の中を彷徨うポゴレリッチは演奏そのものがスクラップと言ってもいいような一時期があり（それはそれで凄惨というほかない瞬間もあったことは確かだが）、しかし彼は戻ってきた。光を伴ってのビルドがいつしか始まった。ここ数年のポゴレリッチの以前より磨かれた音や演奏にも、新しいレパートリーが増えてきたことにも、それがはっきり見て取れる。

2023年に弾いたショパンのソナタ第3番には、それが如実に現れていた。2005年、先述の闇の時代にあっては、なんと45分もかかった彷徨いの演奏が30分強となったし（もちろん演奏時間の問題ではないが）。そこではシューマンのフロレスタンとオイゼビウスが如く、何かを訴えるような外面へと高揚するフォルティシモ、夢の中でささやくような内面的なピアノシモの交替が、独自ではあっても絶妙の調和を見せながら巨きな音楽を築き上げていた。今回のソナタ第2番ではどうだろう？

そしてモーツァルトのソナタや幻想曲でも、シンプルな音使いがゆえに、却ってポゴレリッチのもつ今の“光”が浮かんでくるのではあるまいか。

(A)

イーヴォ・ポゴレリッチ(ピアノ) Ivo Pogorelich, *piano*

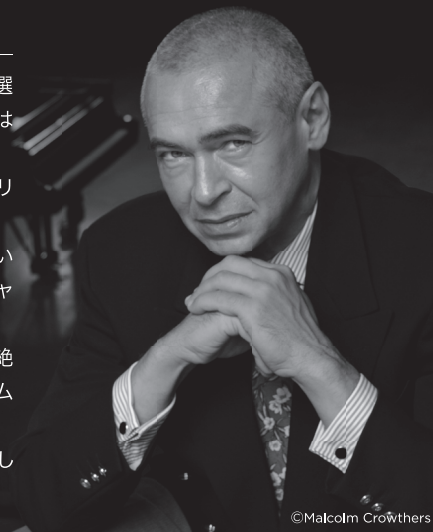
1958年ベオグラード生まれ。数々の国際コンクールでの優勝に続き、1980年のショパン国際コンクールでの落選とそれに抗議して帰国した審査員のひとり、アルゲリッチの「だって彼は天才よ!」という言葉によってポゴレリッチは一躍脚光を呼び、たちまち世界的に名を知られることになった。

1981年のカーネギーホールでのデビュー以来、世界中で活躍、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ロンドン響、パリ管、シカゴ響、ボストン響などと共演を重ねている。

教育にも熱心でクロアチアには財団を、ドイツのバート・ヴェリスホーフェンではポゴレリッチ音楽祭を設立し、若い音楽家たちに多くの演奏機会を与えている。また赤十字やサラエヴォ再建、癌や硬化症と闘う人のためにも多くのチャリティ・コンサートを行っている。1988年にはユネスコから親善大使に任命された。

1982年、ドイツ・グラモフォンから録音デビュー。数多くのCDはいずれも人気を博した。1995年以来録音が途絶えたが、2019年にソニーと契約、ラフマニノフ&ベートーヴェン、そして2022年2月にはオール・ショパン・アルバムが発売。

数年間の療養を経て2005年に6年ぶりの来日を果たして以来、定期的に来日。復活した巨匠の様相を年々濃くしている。

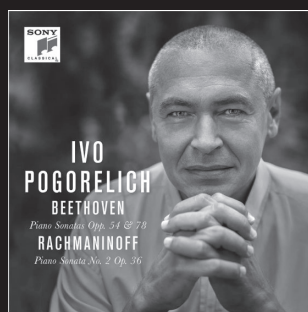


©Malcolm Crowthers

I V O P O G O R E L I C H

イーヴォ・ポゴレリッチ ソニー・クラシカルより絶賛発売中

BSCD2 HiRes AUDIO 96kHz/24bit ハイレゾ配信



ピアノ界の異才、21年ぶりの録音。

ラフマニノフ: ピアノ・ソナタ第2番 & ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第22・24番

【録音】2016年9月 ドイツ、エルマウ城(ベートーヴェン)
2018年6月 オーストリア、ライディング、
リスト・ホール(ラフマニノフ)

定価 ¥2,860(税抜価格 ¥2,600)
CD ● SICC 30512



四半世紀を経て原点のショパンへと帰帰。

ショパン: ピアノ・ソナタ第3番、 夜想曲&幻想曲

【録音】2021年9月2-10日 オーストリア、ライディング、
フランツ・リスト・コンサート・ホール

定価 ¥2,860(税抜価格 ¥2,600)
CD ● SICC 30593

Sony Music Japan
International

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 050-3185-6728

※オペレーター対応(10:00~18:00)
ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

“kajimotomusic”で検索! @kajimoto_News @kajimotomusic

チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード: 282-697)

e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>

CNプレイガイド www.cnplayguide.com

ローソンチケット <https://l-tike.com/>

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017
(オペレーター対応 10:00-18:00 ※休館日は休業)

カジモト・
イープラス



一般発売:
10/20(日) 10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 10/9(水) 12:00~13(日) 18:00 先行受付専用番号 TEL: 050-3185-6713 [10:00~18:00(初日のみ12:00より受付)]

- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。 ●団体料金のご設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。
- ご来場の皆様に安心して聴きただけですよう、感染症の防止と予防のための適切な対策に今後も引き続きご協力をお願い申し上げます。